



第6回四国統一公共交通利用促進キャンペーン

資料3-1

キャンペーン期間：平成24年9月15日(土)～10月14日(日)

- ◆ 鉄道・バス車内において中吊りポスターの掲示、駅・バス停、商店街、自治体窓口等においてポスターの掲示及びチラシの配布を行い公共交通利用促進の広報活動を行いました。
- ◆ 4県県庁所在地において都市イベントを開催。バスの乗り方教室やお絵かきバス、駅名あてクイズラリーなどの催しに大勢の方が来場されました。

愛媛県(9月16日)松山市大街道商店街



鉄道模型展示



アンパンマンバスと
記念撮影

香川県(9月17日(祝)高松市菊池寛通り及び美術館通り)



お絵かきバス



ミニ電車
乗車体験

高知県(9月23日(日)高知市中央公園)

輪投げで知る公
共交通便利情報



公共交通で出かけ
るためのアドバイス

徳島県(8月26日(日)徳島こども交通公園)



ボンネットバス
乗車体験



お絵かき
キャンBus

高齢者、障害者をはじめ、すべての利用者にやさしい交通の実現

理念

誰もが自由に行きたいところへ
行くことができる社会の実現



必要な視点

- ユニバーサル社会の実現をめざしハード・ソフト両面から整備・改善することが必要
- 利用者を中心的な視点に据えることが重要

四国の現状

他地域に比べ
先行する高齢化

【高齢化率】
四国：27.1%
全国：23.3%
(23年総務省
人口推計)

中小旅客施設の
バリアフリー化も
順次整備



四国の全鉄道駅(491駅)は
中小駅(1日当たりの平均的利用
者数が3千人未満の駅)が95%
を占めている。鉄道事業者と
自治体等の連携によりバリアフ
リー化が計画的に進められているが、
道半ば。

課題と方策

- 中小旅客施設のバリアフリー化の一層の推進
 - ・自治体のまちづくり事業との連携
 - ・現状把握を行って整備計画に反映
 - ・段階的・継続的な整備
- 利用者、自治体、事業者等
地域関係者の連携強化
 - ・基本構想作成の推進
- 心のバリアフリーの推進
 - ・バリアフリー教室の開催
 - ・事業者等への助言・指導
- バリアフリー情報の提供

24年度に実施した施策

■交通バリアフリーニュースの発行
交通バリアフリーに関する各地の先進的な取り組みや工夫、全国的な動向などを幅広く共有し、連携を図るために、インターネットを活用し、ニュースを発行している。

・第29号～第32号を発行



■バリアフリー推進四国地域連絡会議の開催
スバイタルアップの一環として、当事者、施設設置管理者等の関係者とバリアフリー化に向けた課題等について意見交換を行い、新たな施策や措置へと段階的・継続的な発展につなげていく。

・高齢者・障害者団体等(高松市：3月)

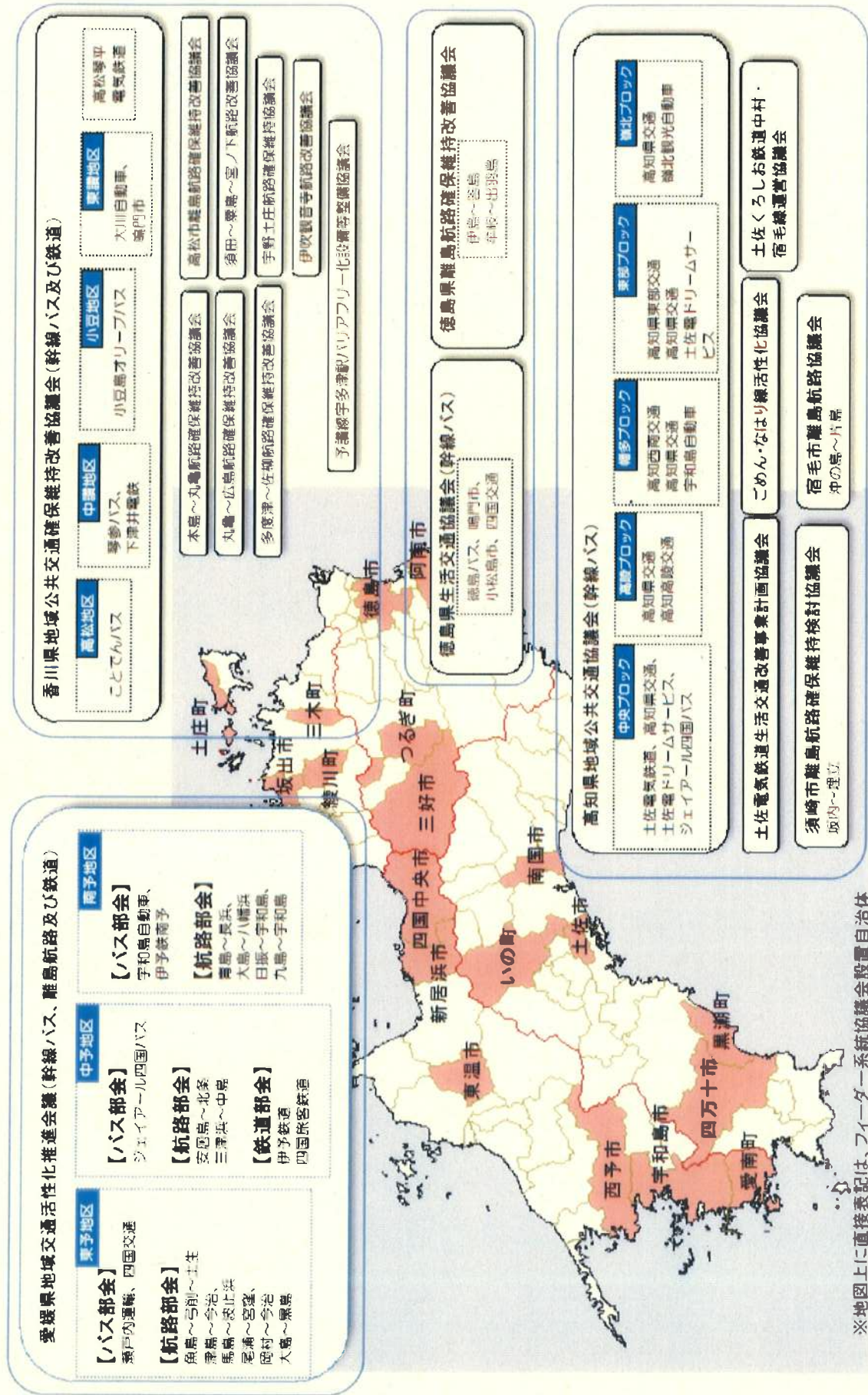
■バリアフリー教室の開催
心のバリアフリーの普及啓蒙を進めるため、一般市民、学生、交通事業者の従業員等を対象に高齢者や障害者の疑似体験や介助体験を行っている。

- ・上八万小学校(徳島市：6月)
- ・津田小学校(さぬき市：9月)
- ・比地大小学校(三豊市：10月)
- ・八万南小学校(徳島市：11月)
- ・城辰小学校(丸亀市：11月)
- ・藍住西小学校(藍住町：11月)
- ・高知龍馬空港・空港関係者(高知市：3月)
- ・松山空港・空港関係者(松山市：3月)



■自治体への基本構想作成支援
市町村は、旅客施設の周辺地区など高齢者、障害者等が利用する施設が集まった地区(重点整備地区)についてバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するため基本構想を作成することができま。24年度は香川県東かがわ市に情報提供を行いました。(東かがわ市：12月 プロモート)

地域公共交通確保維持改善事業による協議会の設置状況



※地図上に直接表記は、ワイダーシステム協議会設置自治体

目的

観光地域づくりに取り組もうとしている人材の育成に寄与し、観光振興方策の指針を示すとともに、セミナー参加者相互のネットワーク化を図る。

概要

地元住民と自治体が一体となって観光まちづくりに取り組んでいる地域での取組事例の紹介、観光地マーケティング・観光地マネジメント分野における有識者を講師として迎え、地域ブランドの本質とブランド構築手法に関する講演及びグループワーク等を実施する。

受講生

- ・観光業関係者
- ・自治体関係者
- ・観光地でまちづくりに取り組む方 等

カリキュラムの内容

- ・にし阿波観光取組事例紹介
- ・講演 観光ブランド「にし阿波」の確立に向けて
- ・グループワーク 観光地域ブランド化について 等

テーマ：～観光ブランド「にし阿波」の確立に向けて～

開催日：平成25年3月22日

場所：徳島県三好市

講師：山田 雄一 氏

(公財)日本交通公社観光調査部主任研究員

受講者：24名

